
第99回定時株主総会

2026年6月25日

 三菱ガス化学株式会社

報告事項

事業の経過及びその成果

招集ご通知 16～17ページ

事業の経過及び成果

当期の世界経済

- 米国関税政策により先行きが見通しにくい状況
- 主要国 →金融緩和・財政政策で景気を下支え
- 米国：先端半導体関連分野で旺盛な需要
- 中国・欧州：製造業を中心に需要低迷が継続
- 中東情勢の緊迫化
→エネルギー価格の高騰・原料供給のひっ迫

総じて不確実性の
高い状況で推移

事業の経過及び成果

当社グループの事業環境

- (+) 先端半導体関連 →需要は力強く推移
- (-) 汎用分野の半導体 →需要は回復途上
 - ・基礎化学品・エンジニアリングプラスチック →軟調な需要が継続
 - ・一部事業 →中東情勢緊迫による影響

全体として厳しい事業環境で推移

事業の経過及び成果

中期経営計画「Grow UP 2026」

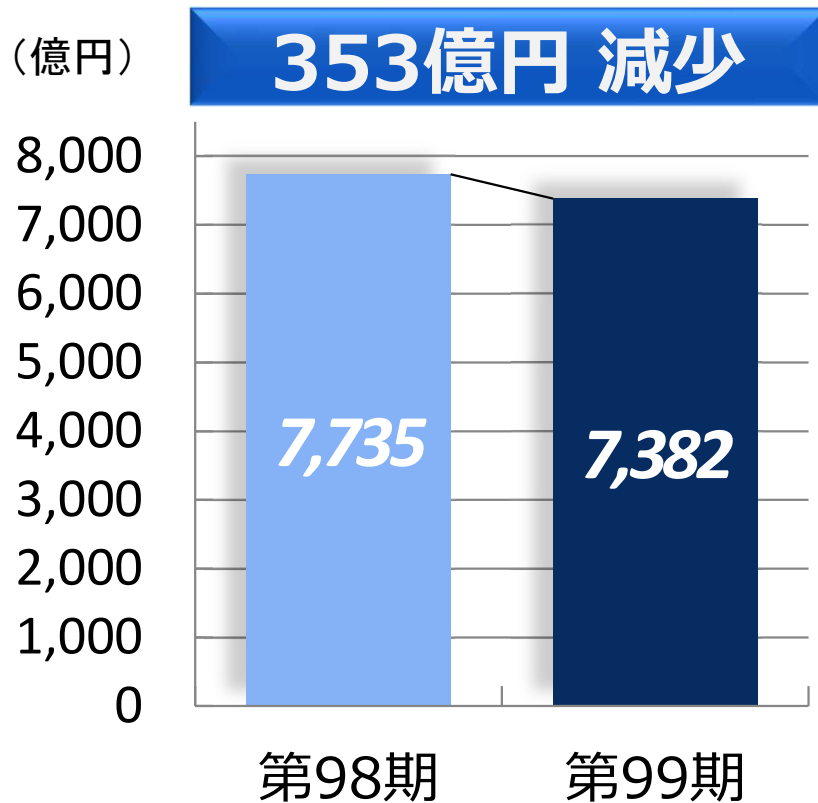
事業ポートフォリオの強靱化

- 「Uniqueness & Presence」へのフォーカス
- イノベーションによる新しい価値の創造
- 重点管理事業の再構築

資本コスト・
株価を意識した
経営の実現

事業の経過及び成果

売上高



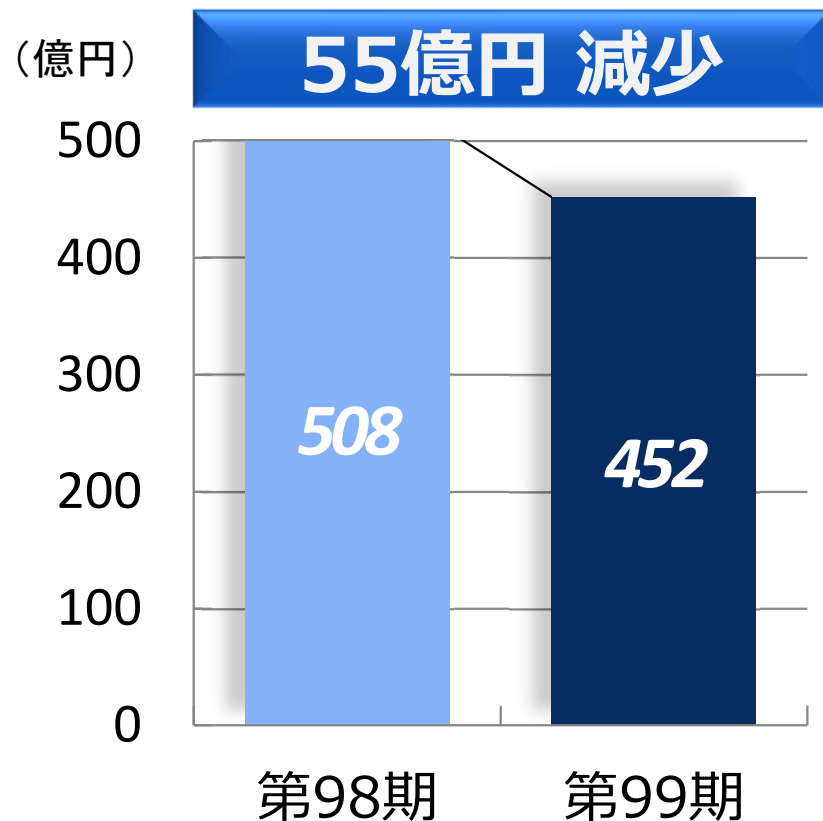
(+) 電子材料の販売は好調に推移

(-) ・エンジニアリングプラス
チックス・メタノールの市況下落

・オルソキシレンチェーンからの事業撤退

事業の経過及び成果

営業利益

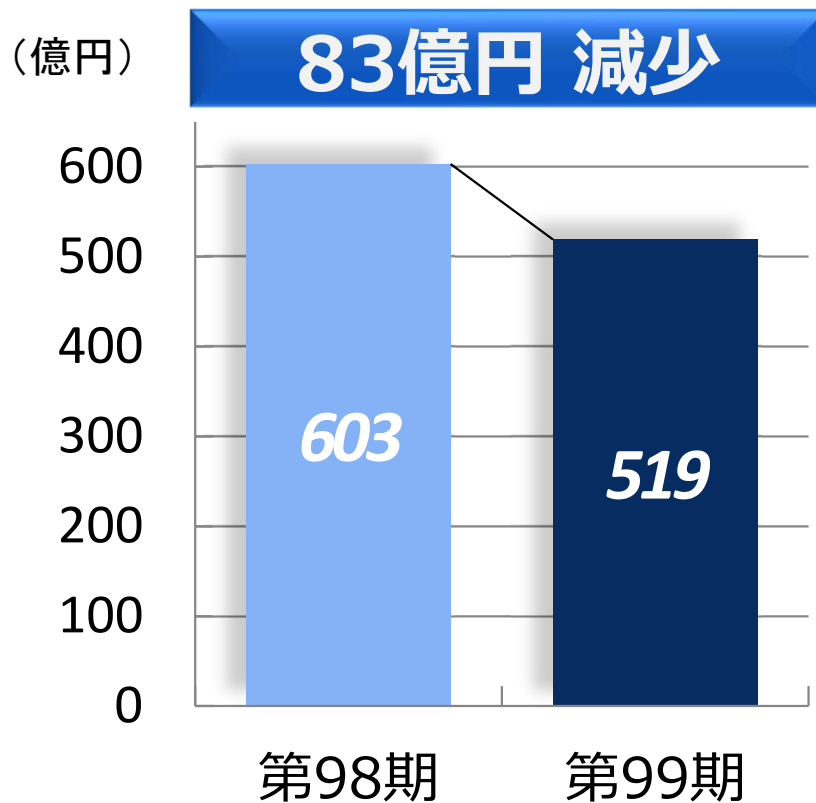


(一)・前述の市況下落

- ・メタキシレンジアミン・誘導体での競争環境の激化
- ・半導体向け薬液製造子会社(台湾)の生産能力増強に伴う固定費の増加

事業の経過及び成果

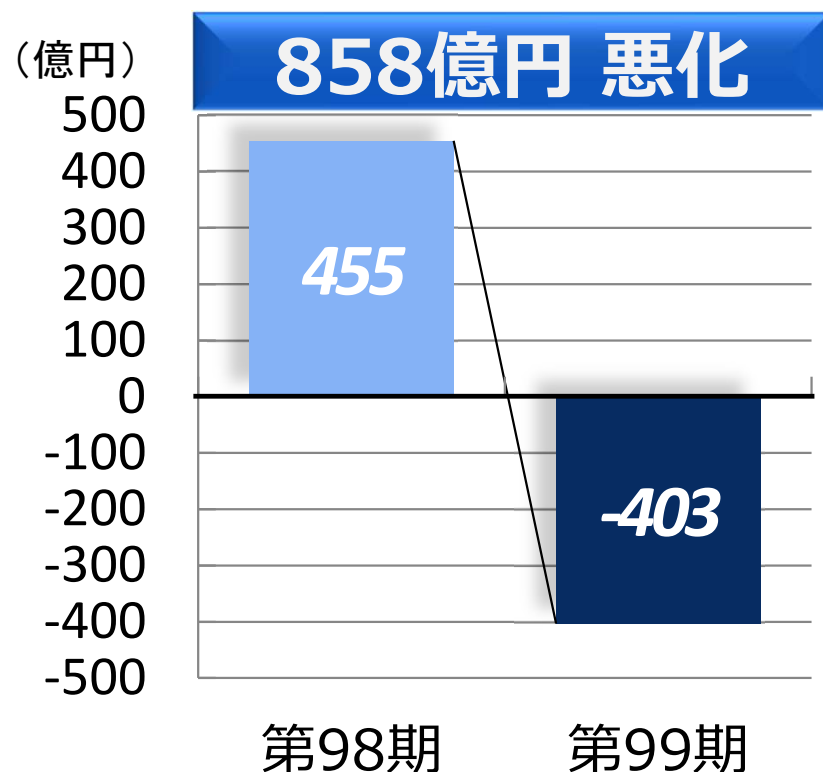
経常利益



- (一)・営業利益の減少
- ・持分法損益の悪化
(メタノール市況下落、
メタノール生産会社における減損損失計上)

事業の経過及び成果

親会社株主に属する当期純損益



- (一) ・**経常利益の減少**
- ・**複数の事業において固定資産の減損損失を計上**
(メタキシレンジアミン製造子会社 (オランダ)、半導体向け薬液製造子会社 (台湾) 等)

部門別事業の経過及びその成果

招集ご通知のとおり

招集ご通知 18～ 20ページ

対処すべき課題

招集ご通知 22～ 23ページ

中期経営計画「Grow UP 2026」

中期経営計画「Grow UP 2026」

2024年度よりスタート

目標 1

事業ポートフォリオの強靱化

- 「U&P事業」へのフォーカス
- イノベーションによる新しい価値の創造
- 重点管理事業の再構築

目標 2

サステナビリティ経営の推進

- カーボンニュートラル実現に向けた取組みの加速
- 人的資本経営の充実
- マテリアリティマネジメントの推進

中期経営計画「Grow UP 2026」

中期経営計画「Grow UP 2026」

Uniqueness & Presence 事業

改称

これまでの
「差異化事業」

- 「伸びる」「勝てる」「サステナブル」
の観点で優れる
- 社会的価値と経済的価値を両立して
持続的に成長できる

当期の取り組み実績

目標1「事業ポートフォリオの強靱化」

施策1 「Uniqueness & Presenceへのフォーカス」

半導体パッケージ用
BT積層材料



能力増強工事が完了(タイ)

AIサーバー向け基板材料OPE®
→需要が計画以上に伸長



製造拠点の整備を検討

メタキシレンジアミン製造設備（オランダ）の建設中止を決定

当期の取り組み実績

目標1「事業ポートフォリオの強靱化」

施策2「イノベーションによる新しい価値の創造」

新研究棟「PR-SHIPS」
(平塚研究所)



竣工

MPSデバイス



愛媛大学と共同開発

浅部深部地熱貯留槽の接続性
理解に関する国際共同開発
(NEDO採択研究開発事業)



国際共同研究契約の
締結

当期の取り組み実績

目標1「事業ポートフォリオの強靱化」

施策3「重点管理事業の再構築」

事業ポートフォリオ 強靱化タスクチーム

- 迅速な業績改善
- 事業構造改革の推進

抜本的な
構造改革を実行

メタキシレンジアミン 製造設備の建設中止 (オランダ製造子会社)

キシレンチェーン全体を含めた
事業の在り方を検討

ポリカーボネート系事業

- 不採算の状況が継続
- 鹿島工場のポリカーボネート
生産設備の停止を決定

さらなる生産能力の
適正化・高付加価値化
等による構造改革

当期の取り組み実績

目標2「サステナビリティ経営の推進」

施策1 「カーボンニュートラル実現に向けた取り組みの加速」

環境循環型メタノール構想

GHG排出量削減に向けた取り組み

「Sharebeing」 …MGCグループ環境貢献製品

施策2 「人的資本経営の充実」

「人材」
(最重要経営資源)

育成・活用に引き続き注力

当期の取り組み実績

目標2「サステナビリティ経営の推進」

TREホールディングス(株)と、国内の木質バイオマス・廃棄物を活用した、日本初となる商業規模のグリーンメタノール製造に関する覚書締結

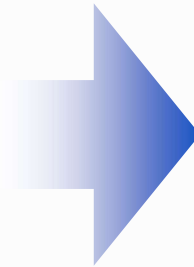
(株)商船三井から長期貸船した、メタノール二元燃料メタノール輸送船「第七甲山丸」の竣工

船舶供給体制の整備として、横浜港錨地での Ship to Ship によるメタノールバンカリングの実施

今後の取り組み

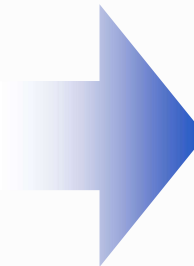
目標1 「事業ポートフォリオの強靱化」

事業ポートフォリオ
強靱化タスクチーム



事業構造改革を
一層推進

ICT領域
(成長ドライバー)



投資成果の
着実な刈り取り

今後の取り組み

目標1 「事業ポートフォリオの強靱化」

新規・次世代事業の創出と育成

ICT
モビリティ
医・食

ターゲット領域

R&D資源の
積極投入

重点管理事業 (採算性に課題)

ポカーボネット系
事業

- 生産能力の適正化
- 高付加価値化

引き続き
事業の再構築

今後の取り組み

目標2 「サステナビリティ経営の推進」

「社会と分かち合える価値の創造」

- カーボンニュートラル関連施策
- マテリアリティマネジメント

カーボンニュートラル実現に向けた取り組み

「Sharebeing」

2030年売上目標 5,000億円



市場競争力のある
U&P製品・技術の創出

剰余金の配当等の決定に関する方針

招集ご通知 36ページ

株主還元方針 「Grow UP 2026」における方針

総還元性向

50%

中期的な目安

DOE

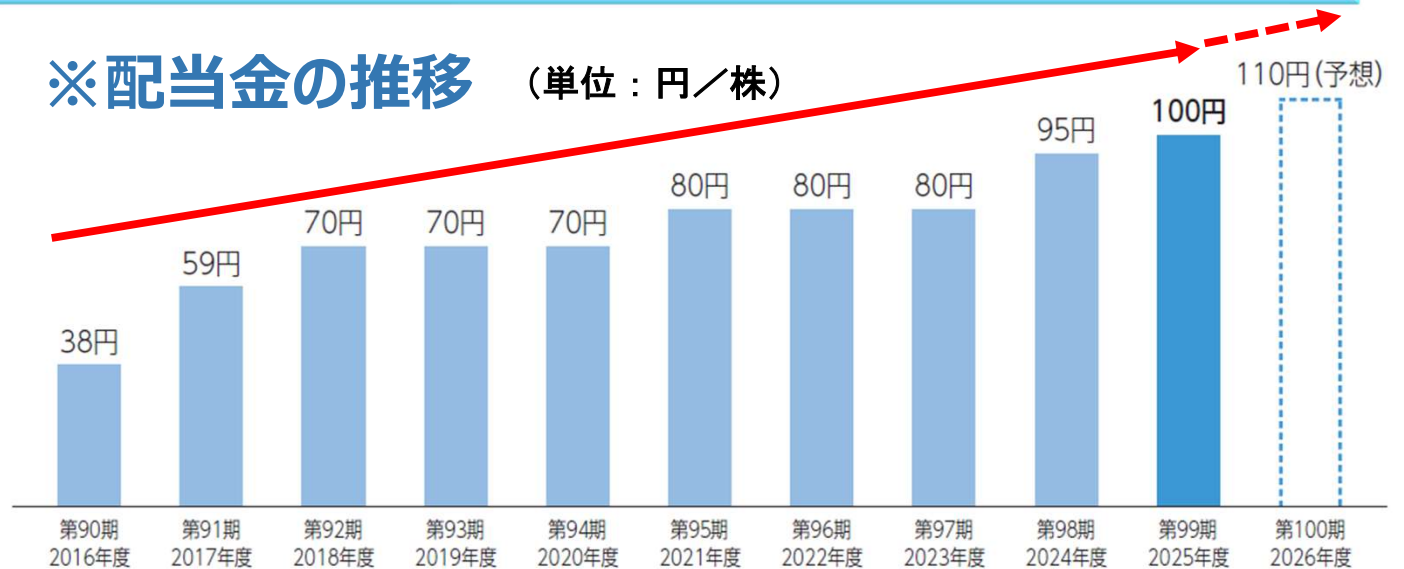
3.0%

中期的な目標

累進配当方針

- 財務健全性を損なわない限り減配は避けつつ累進的な配当政策を志向

※配当金の推移 (単位：円/株)



株主還元方針 「Grow UP 2026」における方針

99期 配当金

期末配当金	50円/株
中間配当金	50円/株
年間配当金	100円/株



98期 年間配当金
95円/株

100期 配当金 (予定)	
中間配当金	55円/株
期末配当金	55円/株

その他の報告事項

招集ご通知のとおり

- その他事業報告記載事項 : 招集ご通知 20~21、24~35ページ
- 連結計算書類 : 招集ご通知 37~38ページ
- 連結計算書類の監査結果 : 招集ご通知 41~42、45~46ページ
- 当社単体の計算書類 : 招集ご通知 39~40ページ

議案のご説明

※お手元の「定時株主総会招集ご通知」の6ページ以降

第1号議案

取締役10名選任の件

社
内

社
外

藤井 政志

伊佐早禎則

北川 元康

毛戸 耕

東 友之

小林 千果

真鍋 靖

栗原 和枝

佐藤 地

真鍋美穂子

第2号議案

補欠監査役1名選任の件

神崎 浩昭

議決権の数のご報告

質疑応答、議案審議

- ◎ 議長が指名いたしましたら、スタンドマイクまでご移動ください。
- ◎ はじめに出席票番号とお名前をおっしゃってください。
- ◎ ご質問は出来るだけ簡潔に、要点をご発言ください。

ご質問等、審議に関する一切のご発言を承ります。

議案の採決

**本日は、お忙しい中、
ご出席・ご審議いただきまして
誠にありがとうございました。**